

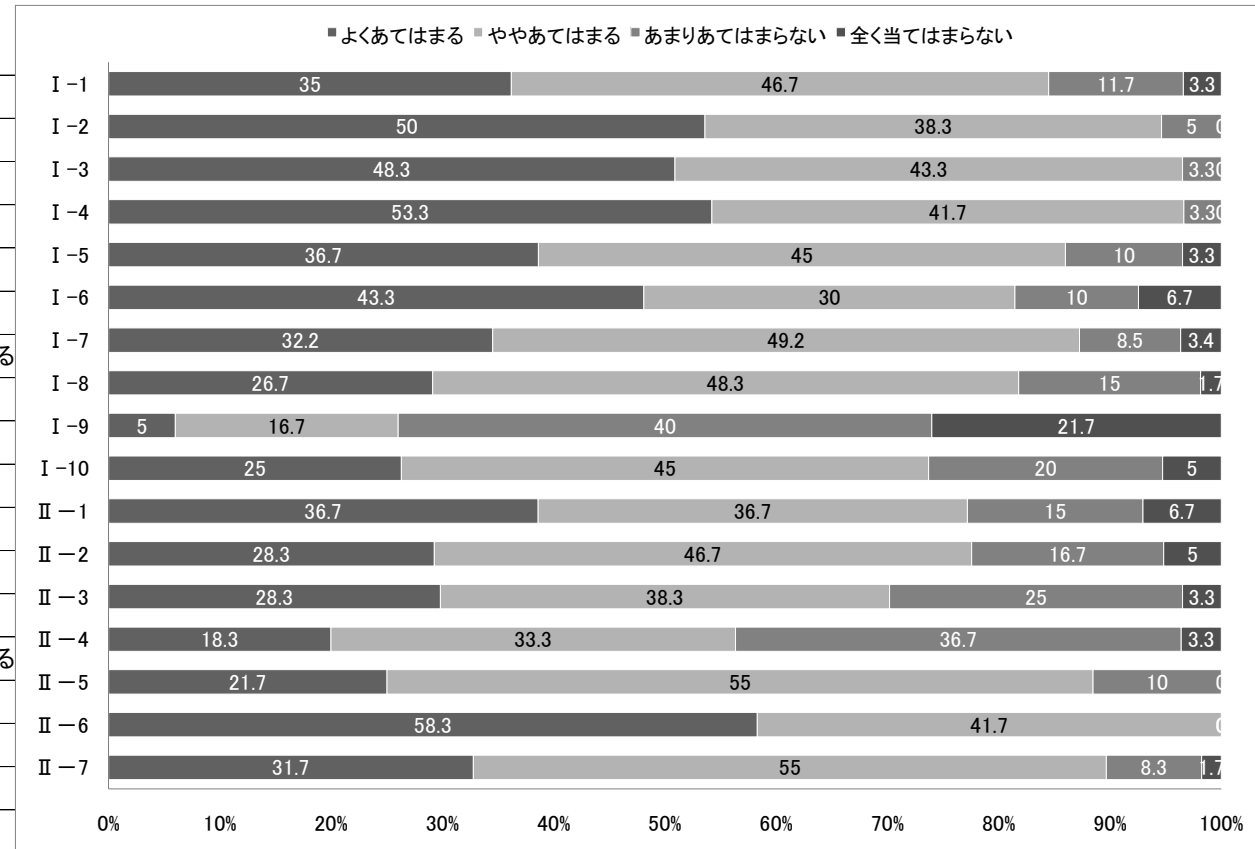
# 平成24年度 学校教育自己診断 教職員アンケート結果

アンケート対象：教職員 60名

回収率：100%

※「わからない」という回答は、母数には含むが、グラフに含まない。

質問事項	
教科指導	I-1 年間の学習指導計画・評価・指導法について教科内でよく話し合っている
	I-2 各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行なっている
	I-3 自分の授業に対して生徒がどう思っているか把握に努めている
	I-4 生徒の実態や要求をふまえ、指導方法の工夫・改善を行なっている
	I-5 指導内容について、教員間でよく意見交換できている。
	I-6 放課後や土曜を使って講習や補習を行なっている
	I-7 学習意欲の高い生徒に対する学習指導を、個に応じた観点で工夫して行なっている
	I-8 到達度の低い生徒に対する学習指導を行なっている
	I-9 生徒の家庭学習の量は十分である
	I-10 コンピュータの情報機器が、各教科の授業などで活用されている
生徒指導	II-1 自分は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行なっている
	II-2 生徒の問題行動がおきたとき、組織的に対応できる体制が整っている
	II-3 様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる
	II-4 教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている
	II-5 生徒指導において、家庭との緊密な連携ができている
	II-6 生徒会活動が活発に行われている
	II-7 この学校では清掃がいきとどいている
人権意識	III-1 教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会が多い
	III-2 人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法について、全教職員で話し合っている
	III-3 障害者理解を深め、ノーマライゼーションの理念に基づく社会を築く資質を養うことができるように工夫している
	III-4 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている
	III-5 男女共生意識に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している
	III-6 異文化理解を促進する工夫がなされている
	III-7 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる
	III-8 この学校では生徒間にいじめが起らないように工夫している
進路指導	IV-1 生徒望ましい勤労観、職業感を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行なっている
	IV-2 生徒一人一人が興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行なっている
	IV-3 学校は大学・専門学校などとの交流の機会を積極的に設けている
地域連携	V-1 保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている
	V-2 学校は支援学校との交流の機会を積極的に設けている
	VI-1 部活動の活性化について工夫している
	VI-2 部活動と学習を両立させるために、学校全体で取り組んでいる

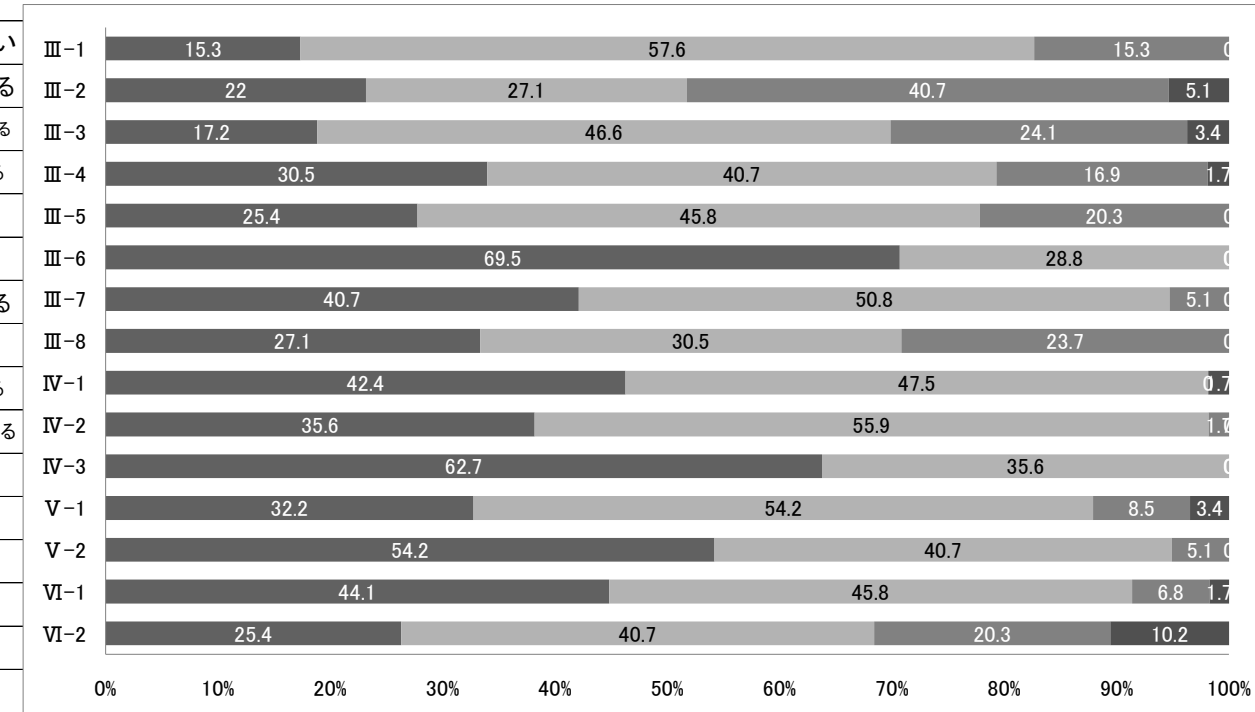


I-1~8に関して  
肯定的意見が8割前後を占める

I-9に関して  
昨年度も重要課題として挙げられていたもの。  
本年度も引き続き検討事項であることが示唆される。  
各教科、学年等で家庭学習を促進する工夫が必要である。

II-4に関して  
ボランティア、奉仕活動等については意見に  
バラつきがある。

II-6,7に関して  
生徒会活動及び清掃は、  
活発に取り組んでいるという結果である。

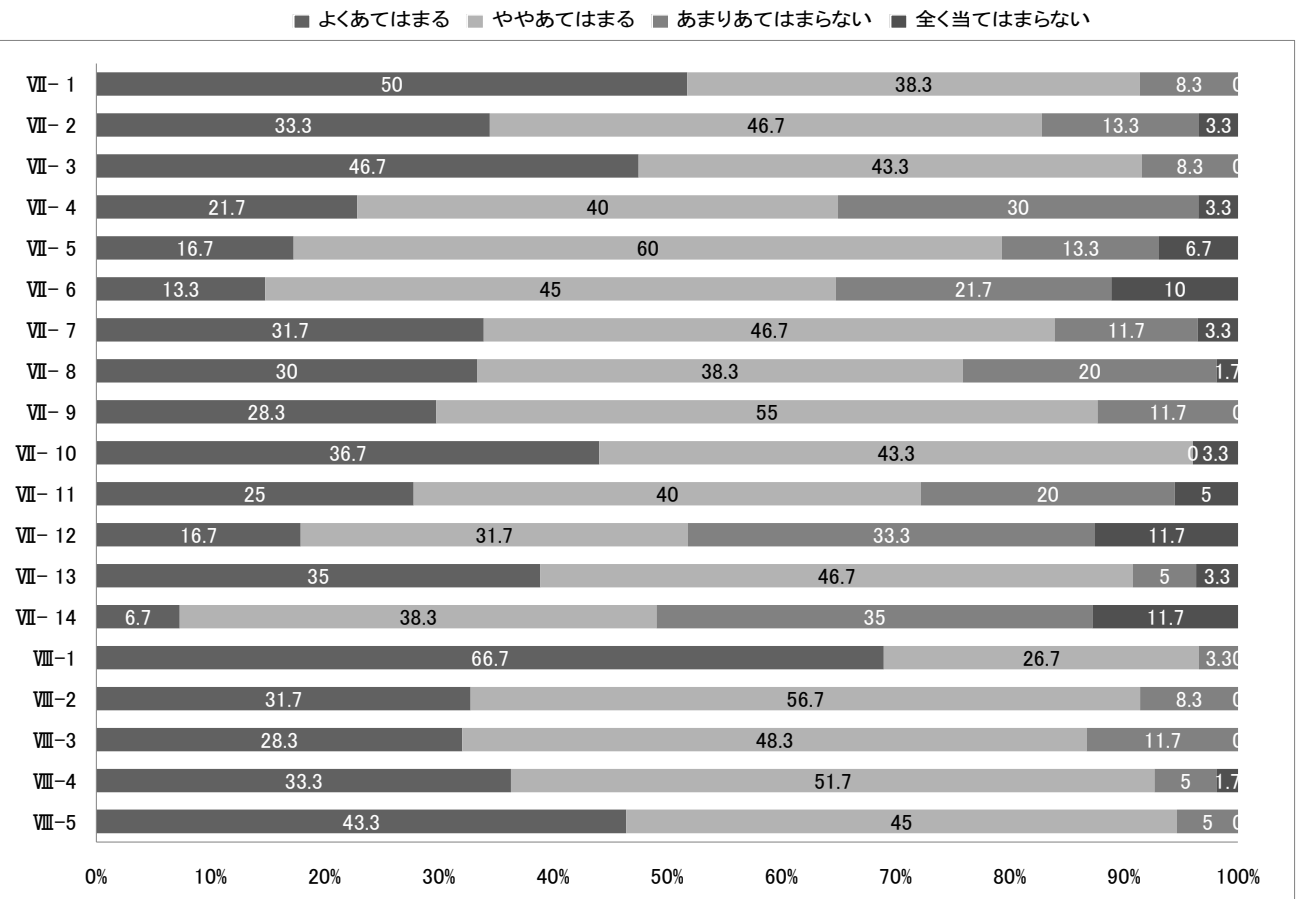


III-2に関して  
「あまりあてはまらない」が多く、  
話し合う場があまりないという結果であるが、  
III-3,4,5に関して 生徒への人権意識を  
促す取り組みについては行われているという  
肯定的意見が6割以上を占めていることから、  
質問事項の「全教員で話し合う」という部分  
に該当しないと判断したのではないかと伺える

III-6に関して  
昨年度と同様肯定的意見のみである。  
IV-3, V-2に関して  
交流に関して十分に取り組んでいるという意見である

VI-2に関して  
結果にバラつきがあることから「学校全体」での取り組み  
として、課題があると言える。

校務	VII- 1	毎日充実して仕事をしている
	VII- 2	教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係にもとづいて教育活動が行われている。
	VII- 3	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができている。
	VII- 4	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。
	VII- 5	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している
	VII- 6	職員会議をはじめ各種会議が教育活動や学校運営に生かされている
	VII- 7	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている
	VII- 8	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている
	VII- 9	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している
	VII- 10	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が強い
	VII- 11	校内研修は教育実践に役立つような内容となっている
	VII- 12	研修、研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている
	VII- 13	校長は自らの教育理念や学校運営についてリーダーシップを発揮している
	VII- 14	学校運営に、教職員の意見が反映されている
学校経営	VIII-1	本校の教育活動には、他校にはない特色がある
	VIII-2	学校は、教育活動全般について、生徒の願いによくこたえている
	VIII-3	学校は、教育活動全般について、保護者の願いによくこたえている
	VIII-4	年度ごとに教育全般にわたる評価を行い、次年度の計画にいかしている
	VIII-5	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行なっている



※「わからない」という回答は、母数には含むが、グラフに含まない。

VII-1, 3に関して  
 ほぼ9割の教員の意見として、現在の日々の仕事及び、環境に関して肯定的に捉えているといえる反面、  
 VII-4, 6,12,14に関して  
 3～4割が否定的意見を持っていることから課題があることが伺える

VIII-1,5より  
 昨年度と同様に本校の特色を生かした行事や教育が実施されていることが伺える。  
 さらに生徒及び保護者からの意見と比較し検討する必要があると考えられる。